

1. 本園の教育保育目標

保護者の協力を得て、多くの良質な体験を通して自信を持たせ、園児個々の成長目標を達成する

- ・心情(Feeling)の豊かな子ども…「感情表出」「愛情」「他への理解」「申告意欲」「試行意欲」「連帯意欲」「正義感」
- ・態度(Manner)の良い子ども…「挨拶」「謝罪」「感謝」「懇願」「自己責任」「選択責任」「勝者の義務」
- ・自主的に行動(Behavior)できる子ども…「規律遵守」「忍耐」「勇気」「責任感」「委任追従」「自己主張」「自己顕示」
- ・個性(Identity)豊かな子ども…「演出表現」「演技」「言語」「感情表出」
 「絵画制作」「興味・関心」「集中・熱中」「創造・想像」
- ・健康(Health)な子ども…「運動・体力」「走・跳・投」「泳・潜」「持久意欲」

2. 今年度、重点的に取り組む目標、計画

- ① 予算を守り、収支差額の黒字化を目指す。
- ② 職員間で意識差が出る事なく、事業統合を達成する。
- ③ ISOのスリム化を行い、大五洋ver.のシステムを作る。

3. 評価項目の達成及び取り組み状況

	評価項目(課題)	取り組み状況
①	経営	統合初年度である事から、経過をみていく1年となった。
②	職員の意識統一	行事の統一はもちろん、アーバン、クラシック両行事の手伝い担当など、職員が両方を兼務したりした事で、より意識の統一が図れていた。
③	簡素化できるものの明確化	コロナにより、説明会等が実施出来ず、省略化する事もあったが、少人数ずつでの開催や、配信を用いていい形でできた。事務処理関係では、書類の統一と共に、スマートな処理方法を少しずつ進めている。

4. 学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

統合初年度であったが、保護者様のご理解とご協力を得て、学校法人大五洋幼保連携型認定こども園衣笠幼稚園として、大きな混乱なく新たなスタートができた。また、職員間の連携においても、行事を中心に実施内容、保育の進め方などの意識もふくめて統一する事ができた。しかしながら、新型コロナウイルス感染拡大防止の様々な影響を受け、保護者様の期待に十分にお答えする事が出来なかった部分も否めない。また、経営においても予測できなかった打撃を受ける事となった。今年度、様々な変更により、新たな試みとして成果が得られた事(ホームページの動画配信、zoom配信等)は、今後さらに活用の幅を広げたい。次年度においては、また新たに保護者様の満足度が高まるよう、アイデアを駆使し実践していきたい。

5. 今後取り組むべき課題(次年度へむけて)

課題	具体的な取り組み方法
① 統合後の経営の安定化を図る。	予算をしっかりと立てて行う。
② 延長・土曜保育の選択あそびをデイタイムにおいても発展を目指す	選択あそびの実践により、自分で選ぶ事、決める事ができる子どもを育てていく。異年齢交流により、人としての関り方を身につけられる保育を実践する。
③ 事務作業の省力化、書類の軽減	現場職員の情報を収集し、無駄を探し出して無駄を省く。
④ 5S(清潔、清掃、整理、整頓、躰)を实践できる人間性の向上	クラスの保育だけに集中するだけではなく、共有の場においても、他人事ではなく、対処できる人となれるよう努力する。大人(職員)が人としての在り方を見せることで子どもへの教育となるようにつなげていく。

6. 学校関係者の評価

新型コロナウイルス感染拡大防止のさまざまな影響が大きな年度ではあったが、主な行事は感染防止の対策を看護師と連携を取り、専門家のアドバイスも得て開催できたことは、その後の子どもにとっての貴重な体験に繋がったと評価している。次年度の取り組みとして、園活動のWEB配信などの見える化の工夫、新たな取り組みに期待する。「経営」の面では、新型コロナウイルスの影響による準休園やピュッフエ・基準以上の職員配置などの環境を含み、目標の収支差額の黒字化の達成はできなかった。次年度は園児数との収入と支出のバランスを予算とリアルタイムにしっかりと確認しながら運営してほしいと願い、私達も理事会・評議委員会で確認をしていく。

令和3年3月25日 理事会